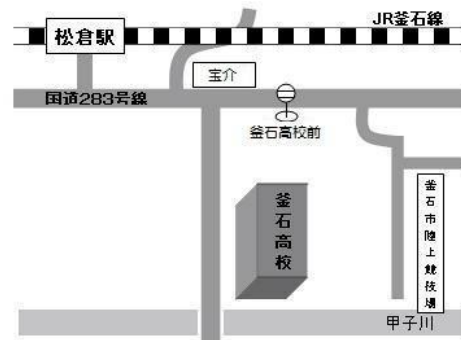


岩手県立釜石高等学校

学校情報

創 立	大正3年(1914年)4月1日
所在地	〒026-0055 岩手県釜石市甲子町10-614-1
電話番号	0193-23-5317
F A X	0193-23-7783
HPアドレス	http://www2.iwate-ed.jp/kas-h/index
交通機関	JR釜石線「松倉駅」下車 徒歩10分 岩手県交通「釜石高校前」下車 徒歩3分
校長名	鈴木 広樹



1 設置学科および在籍数 (R3.5 現在)

課程	学科名	1年	2年	3年	4年	計
全日制	普通科		100	140		240
	理数科		30	35		65
	普通・理数科	162				162
	計	162	130	175		467
定時制	普通科	7	4	3	12	26

2 本校の目指す生徒像

「文礼一如」を教育理念として、次の生徒像の育成を目指す。

【全日制】	・知・徳・体の調和のとれた人間形成(全人教育)
	・豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成
	・広い視野をもち、社会のリーダーとして活躍できる人材の育成
【定時制】	・知・徳・体の調和のとれた人間形成(全人教育)
	・豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成
	・広い視野をもち、社会に貢献する人材の育成

3 令和4年度の入学者の選抜方法について

(1) 推薦入学者選抜(令和4年1月26日実施)

課程・学科名	全日制課程・普通・理数科(くくり募集)
募集定員	10%(16名)
推薦基準	次の1~4の条件を満たした上で、5の条件のいずれかに該当する者 1 本校の教育を受けるに足る能力・適性を持つ者 2 基本的な生活習慣が身に付いている者 3 志望理由が明確かつ適切で、入学後も意欲的な高校生活を送ることが期待される者 4 中学校3年間の欠席日数が原則10日以下の者 5 次のいずれかに該当する者 ただし、当該の活動を義務づけるものではない。

	<p>なお、(1)～(3)は応募資格Aに該当する。</p> <p>(1) 体育活動 ア 中学校体育連盟等が主催する体育活動において、県大会団体 16 位以上（同個人 16 位以上）、または、これと同等の力量を有し主力選手として活躍した者 イ 「いわてスーパーキッズ」に選ばれ、そのプログラムを修了見込みの者</p> <p>(2) 文化・芸術活動 中学校文化連盟等が主催する文化活動において、県大会団体 8 位相当以上（同個人 8 位相当以上）、または、これと同等の力量を有し中心となって活躍した者</p> <p>(3) 生徒会活動・ボランティア活動 生徒会活動や継続的なボランティア活動を行っている者（海外研修等でボランティア活動を行った者も含む）</p>
検査内容	1 面接 個人面接（15 分程度） 2 作文 提示されたテーマについて、600 字以内で自分の考えを述べる（50 分）
選抜方法	1 調査書（180 点） 「各教科の学習の記録」 1・2年の9教科の評定合計（各 45 点）＋3年の9教科の評定合計の 2 倍（90 点） 2 実績（120 点） 調査書及び志願理由書に記載されている実績 3 面接（75 点） 4 作文（75 点） <合計 450 点> ※合計点をもとに、総合的に判断して選抜する
一次選考の有無	無

(2) 一般入学者選抜（令和 4 年 3 月 8 日実施）

ア 全日制課程 普通・理数科（くくり募集） 定員 160 人

	A	C
各選抜方法の割合	7	3
学力検査と調査書面接等との割合	5 : 5	7 : 3
小論文・作文、適性検査、傾斜配点の有無	無	

イ 定時制課程 普通科 定員 40 人

	A
各選抜方法の割合	10
学力検査と調査書面接等との割合	5 : 5
小論文・作文、適性検査、傾斜配点の有無	無

○特色ある教育活動

(1) 学習活動

本校は全日制と定時制を設置しています。

全日制は 2 年次に進級する際に、普通科（3 クラス）と理数科（1 クラス）とに分かれますが、普通科は、進路選択に応じてさらに文系と理系とに分かれます。

文系は 3 年次には国公立大学文系学部を目指し文理系科目を学習する文 I コースと私立大学文系に対応し文系科目を重点的に履修する文 II コースに分かれます。理系は国公立大学理系学部や医療系大学を目指し理数系科目を重点的に学習します。

理数科は理科及び数学に重点を置いて学習し、実験実習や課題研究等を通じて科学的思考力を高め、優れた科学技術人材の育成に努めています。

定時制は4修制と3修制があり、4修制を基本として、4年間をかけて基礎学力の定着を図っています。また、制服を着用し、生活面・整容面での指導にも力を入れています。

(2) 特別活動

ア 生徒会活動

執行部を中心とした生徒の自主的な活動を尊重しています。各種委員会と連携して、あいさつ運動や整容・交通安全・携帯電話のマナー喚起など、様々な活動に取り組んでいます。応援団(委員会)の意識も高く、生徒を一つにまとめ高総体開会式や野球などの応援活動では青春の炎を燃やしています。平成28年3月には春の選抜甲子園大会で応援団賞優秀校に選ばれました。

イ 部活動

運動部のここ数年の活動では、インターハイに空手道部(男女団体組手・男女個人組手・女子個人形)が出演しています。東北総体には空手道部・陸上部・水泳部が出演しました。全国ボクシング選抜大会では女子ピン級で第3位になったこともあります。東北新人大会には空手道部・水泳部・ボクシング部が出演しています。その他にもラグビー部の生徒が18歳以下の東日本代表に選ばれるなど、多くの生徒が活躍しています。

文化部の最近の活動では、吹奏楽部の全日本アンサンブルコンテストで19年ぶりの東北大会出場、美術部は高文祭美術工芸展でデザイン部門・絵画部門で入選、音楽部は全日本合唱コンクール岩手県大会で銀賞など各種大会及びコンクールに向け熱の入った活動をしています。

定時制においては、令和元年度全国定時制大会にバドミントン部・陸上部が出演しました。

(3) SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業

研究開発課題

「学年間連携による協働的ゼミ活動を中心とした科学技術人材育成のカリキュラム開発」

目的

「主体的・協働的な問題解決能力と国際性を兼ね備えた科学技術人材の育成」

本校はH24年度からH28年度まで文部科学省スーパーサイエンスハイスクールに指定され、様々なプログラムを通して生徒の「科学する心」を育ててきました。H29年度からR3年度までの第2期は、第1期の成果と課題を生かし、様々な取り組みを行っています。

第2期のメインは「学年を連携したゼミ活動」です。毎週木曜日の6・7校時に学年やクラスの枠を超えた「ゼミ活動」(探究活動)を行います。この「ゼミ活動」では、同級生だけでなく他の学年と一緒に活動することで、自ら関わる「主体性」を身につけることや、自ら課題を発見し解決する「探究力」つけることなどをねらいとしています。わかりやすいイメージは上級生が下級生の面倒を見て、一緒に夢や目標に向かって活動していく高校の「部活動」や、様々な学年が協働して研究を進めていく大学の「ゼミ活動」です。上級生と下級生、さらに先生方が一緒に活動することで様々な「化学反応」を生み出し、釜石高校としての新しい学びのスタイルが創られると考えています。

また、SSH海外研修を実施し、実際に英語を使って現地の学生と協働的探究活動を行うことで、将来国際的に活躍する科学技術人材の育成を目指しています。

なお、研究のまとめとして毎年2月に「研究成果報告会」を実施しています。御覧になっていただき、アドバイスいただくと幸いです。

(4) 進路指導

全日制では、大学への進学希望が大多数です。進学へ向けた授業展開が主ではありますが、公務員受験や民間会社への就職などについても、模擬試験や各種講座などをおしてきめ細やかに指導しています。進路の決定時期や進路先に関わらず釜石高校として期待される学力と問題解決スキルを身につけるために、3年生も2月中旬まで授業・講座が継続します。

定時制では、釜石管内への民間就職や専門学校への進学を希望する生徒が多く、個々の能力・適性に応じたきめ細やかな指導をしています。

○校長より一言

本校は、1914年（大正3年）創立以来、様々な変遷を経て、2008年（平成20年）に釜石南高校と釜石北高校が統合され新生「釜石高校」となりました。今年で107年目を迎える歴史と伝統のある学校で、「文礼一如（ぶんれいいちにょ）」を教育理念とし、生徒一人一人が「鋼鐵の意志（はがねのころ）」で困難に立ち向かい、文武両道にたゆまぬ努力を重ねながら、自らの高き進路目標達成に向け邁進しています。

2017年（平成29年）には、文部科学省より第2期目のSSHの指定を受け、1～3年生で「ゼミ」を編成し、上級生から下級生に研究の経験や技術を伝えたり、ディスカッションを重ねたりしながら、生徒が主体的に学び、共に高め合う活動を展開しています。こうした活動を通して、変化の激しい社会の中で課題を見だし、協働して解決できる資質や能力を育成しています。

部活動も盛んで、毎年多くの部が全国大会や東北大会に出場しています。また、様々なボランティア活動に主体的、積極的に参加し、自らの可能性を拓く生徒も多くいます。

すべての生徒が、充実した学校生活を送りながら視野を広げ、多くの経験を積み大きく成長できる、それが釜石高校です。進取の気性にあふれる本校で青春を謳歌してみませんか。

○必要となる諸経費の概算

【令和3年度入学生】

（1）全日制課程

入学諸納金 11,530 円、生徒指導課関係 2,758 円、進路指導課関係 28,600 円、

その他 5,944 円

教科書代 8,760 円（芸術科目を除く）、運動着・シューズ代 19,950 円、教材費 28,680 円、

諸会費は4月～1月の年10回 5,000 円

（2）定時制課程

入学諸納金 25,000 円、教科書代 6,500 円

諸会費は4月～1月の年10回 4,360 円

○公立高等学校就学支援金制度に関する県教育委員会からのお知らせ

（1）平成26年度から県立高校の授業料に高等学校等就学支援金制度が導入されました。

（2）この制度により、一定の所得未満の家庭の高校生は授業料の納付が不要となりました。

（3）一定の所得未満とは、保護者等の所得について、以下の算定式により計算した額が、30万4,200円未満の場合です（年収目安約910万円未満）。

【算定式】課税標準額（課税所得額）×6% - 市町村民税の調整控除の額

（4）手続き等については、入学手続き関係書類の送付と併せてお知らせする予定ですが、制度について詳しくお知りになりたい方は、下記の文部科学省ホームページ「高等学校等就学支援金制度（新制度）について」をご覧ください。 http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/index.htm

【参考】県立高校授業料・通信制受講料

全日制（月額）9,900 円 定時制（月額）2,700 円 通信制（1単位）190 円